



# のせ川



小学校卒業式



中学校卒業式

村民の皆様及び関係者の皆様におかれましては、村政発展のため何かとご協力を賜り誠にありがとうございます。

新年度に臨む私の所信及び村政の基本方針を申し上げ、議員各位並びに村民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

わが国の経済は、緩やかな回復基調が続いておりますが、変動が著しい国際情勢も注視する必要があります。依然として先行きは不透明な状況でございます。

また、急速な人口減少、少子高齢化の進行が見込まれる中、喫緊の課題である年金、医療、介護をはじめとする持続可能な社会保障制度の確立や、地域の活性化と人口減少抑制をめざす地方創生の取組、更には、全国各地で発生している自然災害に対する防災・減災対策や被災地への支援など、多岐にわたる諸問題への対応が求められています。

本村といたしましても、国際情

勢や国の動きを的確に捉えながら、村が持つポテンシャルを最大限に生かすことで、村や周辺地域の活性化と村民の皆さまが安全・安心に暮らすことのできる村づくりを進めてまいります。

そこで、平成29年度の村政運営に当たって、次の4つ事項を柱として施策を展開してまいりたいと存じます。

まず1つ目の柱は「地方創生実現への着実な取り組み」であります。

本村においても平成27年度に有識者や村民の方々に広くご議論いただき「野迫川村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。

この戦略に位置づけられた新産業を創出する取組みとして、現在、「きのこの村づくり事業」に取り組んでいるところです。

この事業は、造成された村有林の一部を皆伐し、コナラ・クヌギなどの自然林に戻すことで村の豊かな山林資源を活用して、しいたけの原木を育て、これをしいたけ

の生産に活用する地域資源循環型の事業です。この事業により村内の雇用を創出するなど経済面でも好循環を目指します。

また、観光面においては、昨年、恒例行事である「平維盛の大祭」の参加者が約1,500人と過去最高となるなど、広がりが見られます。加えて、特産品の「野迫川村のアマゴ」が、経済産業省の「ふるさと名物応援宣言」に近畿で初めて認定されるなど、これまでの取り組みが徐々に浸透し、村外・県外の方々への認知度が高まっております。

今年度、マスコットキャラクターである「これもりくん」「つる姫ちゃん」のぬいぐるみを作成し、ホテルのせ川において販売を開始するなど、本村では今までにない試みを行ってまいりました。

今後もメディア等、あらゆる広報媒体を活用するなど、新しい手法を取り入れながら、積極的な観光PR活動を展開し、本村の魅力を広く発信してまいります。

人口減少対策については、本村

で増加する空き家について、これを資源と捕らえ、居住できるように改修を行って移住希望者の住まいとして活用してまいります。今年度、本村で増加する空家の実態を把握する調査を行いました。この結果を踏まえて、所有者と移住希望者のマッチングができる仕組みを構築してまいります。

次に、2つ目の柱として「安全・安心に暮らすことのできる生活基盤の整備」を進めてまいります。

昨年、本村においてもようやく家庭ゴミの収集体制を整備することができました。都市部で当然享受できるサービスが本村では受けられず、村民の方々の負担となっておりました。

しかし今年度より、村内事業者や隣村の協力により、週1回の家庭ごみの収集が可能となりました。今後、近隣市町村とも協力し、ゴミ処理施設の広域化も視野に入れながら、生活環境の向上に努めます。

また、医療・福祉面においては、南奈良総合医療センターや国民健

康保険診療所、グループホーム「ゆうゆう苑」の運営などに村が主体的に参画することで、住民の医療・福祉体制の充実を図ってまいります。

来年度、県においてドクターヘリの運用が予定されています。拠点病院等への交通手段が脆弱なへき地である本村において、一刻を争う傷病に対応するにはドクターヘリの運用が大変重要になります。

昨年4月に奈良県広域消防組合野迫川分署が開署し、救急救命士による救急搬送が実現されましたが、ドクターヘリの運用が開始されれば、救急車と連携することで、重篤な患者の拠点病院等への迅速な搬送が可能となります。

3つ目の柱としては、「災害からの復旧・復興及び減災への取組み」であります。

平成23年9月に発生した紀伊半島大水害により、本村も複数の住宅が全壊するなど甚大な被害を受けました。

今後、南海トラフ巨大地震の発生が予想されるほか、土砂災害に関しても村内の複数箇所が特別

警戒区域に指定されるなど、大きな被害が発生する可能性があります。

本村においても、「地域防災計画」の策定や「職員マニュアル」の整備を行ってきましたが、災害はいつ発生するか分からないため、これらの災害から生命を守るには、日常より災害に対する備えを怠らないことが重要です。

このため来年度、住民の方々にも参加をお願いして、災害時の避難行動等を身をもって経験することができる防災訓練の実施を予定しています。

このような訓練を重ねることで、災害が発生した際の迅速な行動につながるのと同時に、防災意識の高揚にも寄与します。

紀伊半島大水害で被害の大きかった北股地区においては、廃校となっている旧北股小学校において、災害復興のシンボルとなる施設を整備して災害復興等に関する村外からの研修の受け入れや住民と移住希望者や観光客等との交流の場として活用します。

また、災害時の重要な防災拠点となる役場について、竣工より50

年以上経過していることから、発災時の初期対応やその後の業務継続を円滑に行うために、改修や立替、他施設との統合を含めた整備方針についての検討を行います。

最後に、4つ目の柱としては、「教育・文化の振興による魅力的な村づくり」です。

本村では、現在、保育所から中学校までの園児・児童・生徒に対して外国語指導助手による英語教育を推進するとともに、国際交流事業として中学生によるグアム訪問など、少人数の強みを生かした特色ある教育を進めております。

昨年末、関西ローカルのテレビ企画「子育てしやすい街ランキング」で、本村の子育て環境の良さが評価され、関西198市町村中2位にランクインしましたが、これらの特色ある取組みを続けている成果だと考えており、今後もこれらの取組みを続けてまいります。

また、今年は奈良県で国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭が開催されますが、本村においてもこの一環として、野迫川村の四季の魅力写真を収めた「フォトコ

ンテスト」や記念イベントを開催し、村の情報発信を積極的に行ってまいります。

私は今年、本村の活性化へのキーワードとして「楽(たのしい)ごきょうぼうや職員と共に楽しみながら一丸となって、先に申し上げました4つの柱の施策に取り組みむことで、それに魅力を感じて外から人が集まり、村が活性化し、目標とする「夢が語れる、夢が持てる村づくり」が実現すると考えおります。

#### おわりに

以上、平成29年度の施政方針について申し上げます。

これら諸施策の実現は、私ひとりでは成しえるものではございません。緊張感を持って誠実に、意思決定機関である議会や村民の皆様のご意見を伺いながら、職員と一丸となって全力を注いでまいります。

議員各位並びに村民の皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

# 議会の動き

平成29年3月

第1回定例議会

- 平成29年3月9日に招集され、報告2件、議案17件が次のとおり議決されました。
- 報告第1号 専決処分の承認を求めることについて
- 報告第2号 野迫川村耐震改修促進計画の策定について
- 議案第1号 野迫川村個人村民税の控除対象となる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人を指定するための基準及び手続を定める条例の一部を改正する条例
- 議案第2号 野迫川村税条例の一部を改正する条例
- 議案第3号 野迫川村税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 議案第4号 野迫川村一般廃棄物の処理に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第5号 野迫川村公の施設における指定管理者の指定について
- 議案第6号 平成29年度野迫川村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算
- 議案第7号 平成29年度野迫川村後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出予算
- 議案第8号 平成29年度野迫川村介護保険事業特別会計歳入歳出予算
- 議案第9号 平成29年度野迫川村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算
- 議案第10号 平成29年度野迫川村代替バス事業特別会計歳入歳出予算
- 議案第11号 平成29年度野迫川村温泉事業特別会計歳入歳出予算
- 議案第12号 平成29年度野迫川村分収造林事業特別会計歳入歳出予算
- 議案第13号 平成29年度野迫川村一般会計歳入歳出予算
- 議案第14号 平成28年度野迫川村介護保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第5号)
- 議案第15号 平成28年度野迫川村一般会計歳入歳出補正予算(第8号)
- 議案第16号 野迫川村監査委員の選任について
- 議案第17号 野迫川村固定資産評価審査委員の選任について

## 固定資産評価審査委員の選任について

平成29年3月31日で任期満了のため、平成29年4月1日付で、村議会に同意いただいた上で次の方に引き続き固定資産評価審査委員を務めていただくことになりました。

南 谷 昌 弘 氏 ( 平 )

南 谷 正 美 氏 ( 北 股 )

固定資産評価審査委員は、固定資産税の納税者から評価額についての審査請求があった場合に、その価格が適正であるかを審査いただきく役職です。なお任期は3年です。

## 監査委員選任

平成29年3月31日で任期満了のため、平成29年4月1日付けで、引き続き増本忠司氏(北股)が選任されました。なお、任期は4年です。



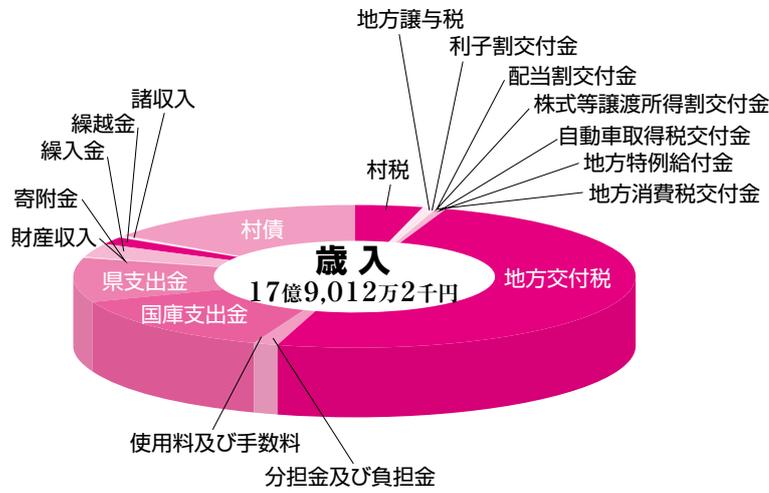
# 平成29年度 一般会計予算

# 平成29年度 村の予算

1. 村税	72,577
2. 地方譲与税	10,413
3. 利子割交付金	74
4. 配当割交付金	306
5. 株式等譲渡所得割交付金	167
6. 自動車取得税交付金	3,280
7. 地方特例給付金	10
8. 地方消費税交付金	7,851
9. 地方交付税	880,670
10. 分担金及び負担金	3,061
11. 使用料及び手数料	22,077
12. 国庫支出金	238,743
13. 県支出金	180,638
14. 財産収入	1,019
15. 寄附金	1,600
16. 繰入金	55,518
17. 繰越金	30,000
18. 諸収入	12,618
19. 村債	269,500

[単位：千円]

## 歳入 17億9,012万2千円



### 財政用語辞典 歳入

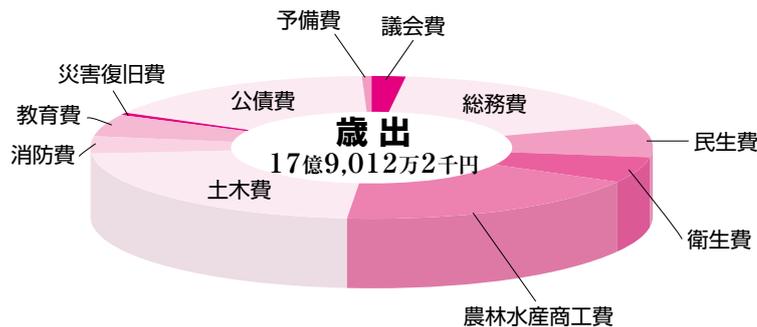
**村税**→みなさんに納めていただいた村民税や固定資産税など。  
**地方交付税**→所得税など国が徴収する税金の中から、村の状況に応じて交付されるお金。  
**村債**→大きな事業を行うために、国や県、金融機関から借り入れるお金。  
**国・県支出金**→特定の事業の財源として国や県から交付されるお金。

**使用料及び手数料**→村の施設を使ったり、住民票などの交付にみなさんが支払うお金。  
**地方消費税交付金**→地方消費税（消費税8%のうち1.7%）の中から交付されるお金。  
**分担金及び負担金**→特定の利益を受ける人から徴収するお金。  
**繰越金**→前年度の決算から繰り越したお金。

1. 議会費	37,340
2. 総務費	320,486
3. 民生費	132,592
4. 衛生費	102,069
5. 農林水産商工費	329,569
6. 土木費	400,110
7. 消防費	66,014
8. 教育費	93,226
9. 災害復旧費	9,200
10. 公債費	294,516
12. 予備費	5,000

[単位：千円]

## 歳出 17億9,012万2千円



### 財政用語辞典 歳出

**議会費**→議会運営のために使うお金。  
**総務費**→村の総合的な管理経費や自治振興などに使うお金。  
**民生費**→福祉サービスなどに使うお金。  
**衛生費**→住民検診・ごみ処理などに使うお金。  
**農林水産商工費**→農業振興や林業振興、観光事業などに使うお金。

**土木費**→道路を整備するために使うお金。  
**消防費**→防火設備の整備、消防団運営等に使うお金。  
**教育費**→学校の運営や公民館など、教育の振興のために使うお金。  
**公債費**→村債（借り入れ金）を返済するために支払うお金。

## 野迫川村各課の分掌事務 (平成29年4月1日現在)

村長 角 谷 喜一郎  
教育長 中 迫 喜 昭

副村長 中 本 浩 三

### 出納室

会計管理者 根本 幸司  
林 明代 出納事務

金丸 英樹 林道・治山  
深澤 潤一 庶務・簡易水道  
伊藤 喜康 道路維持  
尾崎 伸二 道路維持

### 総務課

総務課長 北脇 宏章  
津田 克則 消防・選挙・財政  
今西 麻美 秘書・人事・共済・  
給与  
吉武 慶真 財政・広報  
南 圭太 住宅・交通安全・  
庶務  
金丸 まどか 休職中  
二神 由里加 休職中  
西浦 弘祐 休職中

### 産業課

産業課長 南谷 達也  
課長補佐 梶谷 豊典 農業・漁業  
中藪 邦幸 林務  
中嶋 佑樹 観光・統計・庶務  
バス係 杉谷 均 村営バス運行  
菊谷 栄次 村営バス運行  
井上 政則 村営バス運行

### 教育委員会

教育課長 萬谷 真理子  
坂本 龍一 学校教育  
津田 真衣 学校教育・  
社会教育  
辻本 明日翔 学校教育・  
社会教育  
井上 望美 社会教育

### 住民課

住民課長 吉井 善嗣  
課長補佐 糀 弘城 国民健康保険  
課長補佐 辻本 容史子 戸籍・国民年金  
課長補佐 竹田 麻祐美 介護事務  
大上 晋右 税務  
中田 有香 後期高齢  
廣畑 直人 税務  
竹ノ内 沢 保健師  
大西 高史 主任  
ケアマネージャー

### 議会事務局

局長 山本 一尊  
大上 晋右 議会書記(兼務)  
中藪 邦幸 議会書記(兼務)  
深澤 潤一 議会書記(兼務)

保育所 中迫 朋子 保育士  
仲西 唯 保育士  
中本 久美 保育助手  
倉谷 啓子 保育助手

### 監査事務局

局長 山本 一尊(兼務)

診療所 根津 大樹 医師  
北出 麻実 看護師  
二神 茂治 事務・患者送迎  
倉岡 由紀江 事務

### 社会福祉協議会

局長 南谷 俊廣  
丸田 耕嗣 事務・有償送迎  
菊谷 ゆかり 事務・ヘルパー・  
有償送迎  
中田 あけみ ヘルパー・事務  
南 あかり ヘルパー・事務

### 建設課

建設課長 倉岡 利成  
課長補佐 鶴谷 純也 公共土木・村道

## 野迫川小学校卒業式

3月23日(木)平成28年度第12回野迫川小学校卒業証書授与式が行われました。今年度の卒業生は、船越あゆかさんです。来賓のみなさまや保護者のみなさま、たくさんの方々に見守られながら思い出多い野迫川小学校を大きな希望をもって巣立って行きました。角谷村長はじめご来賓の方々から、心温まる励ましのお言葉をいただき心に残る卒業式となりました。



## 野迫川中学校卒業式

3月15日(水)野迫川中学校体育館において、野迫川中学校第45回卒業証書授与式が行われました。今年度の卒業生は5名で保護者や来賓の方が温かく見守る中、堂々とした態度で卒業証書を受け取り、厳粛に進行しました。そして、たくさんのお祝いや励ましの言葉を受け、元気に中学校を巣立っていきました。



## 野迫川奈良女塾

3月27日(月)～3月30日(木)、旧野迫川中学校において、奈良女子大学の学生が村の小・中学生向けに「第3回野迫川奈良女塾」を開講しました。

受講した小・中学生は8名で、午前中は個別のワークブックで学習をし、午後は学習のほか、スポーツ、クッキング、パソコン教室など様々なプログラムが用意されていました。

また、今回は特別に笑福亭竹林氏をお招きし、「落語体験教室」を実施しました。竹林氏の落語を楽しんだ後、何人かの生徒が高座に上がり、教わった落語の小話を上手に披露する場面も見られ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



## きのこの村づくり事業 1年の経過

昨年度、野迫川村きのこ協議会を発足し、野迫川村大字平に年間を通じて原木しいたけを栽培できるビニールハウス施設・ほだ木置き場・事務所を整備しました。ハウスの中には、スプリンクラーや、冬でもハウスを温めるためのボイラーを整備しました。1年間を通じて、原木しいたけの栽培を通じて将来の野迫川村の産業として自立していきけるように活用していきます。

また、村有林を一部皆伐し、コナラを植え、15年～20年ほどかけてしいたけの原木を育て、伐採し萌芽更新して循環するきのこの村づくりを進めています。

これにより、しいたけの原木を供給することができ、林業従事者やきのこ生産の雇用創出を進めていきます。



ビニールハウス 外



ビニールハウス 内

## 診療所だより

はじめまして。

みなさん、こんにちは。

診療所の根津大樹（ねづだいき）です。4月から西岡歩美先生の

後任として、野迫川村診療所の医師として赴任しました。



歴代の切畑屋先生や西岡先生は大学での先輩かつ、専門分野の外科の先輩にあたります。以前よりその先輩方から野迫川村の豊かな自然や村民の皆さんのお話を伺っており、今回この野迫川村で診療できることになり、とても楽しみにしています。引き続きこの診療所だよりも不定期ではありますが、掲載していこうと思っています。

診療所のメンバーも変わりますので、また新しい顔を見に来ていただければと思います。西岡先生が診療所内をととてもきれいに使われていたので、私もそれをできるだけよごさないように大切にしていきたいと思っています。

普段のお薬の管理から耳掃除、爪切り、傷の処置など診療所でできることは何でもやっ  
ていくつもりですので、ご要望があれば気兼ねなくおっしゃってください。

それでは、これからよろしくお願ひします。

# てんいち先生



## 軽自動車税の納期限は 5月1日(月)です

平成29年度軽自動車税の納期限は5月1日(月)です。この日までに役場窓口や、郵便局・銀行等で納付をお願いします。

また、口座振替の引落しもこの日に行います。口座残高に不足がないよう、ご確認ください。

巡回日	4月25日(火)	平・大股・北今西・檜股・弓手原
	4月26日(水)	池津川・立里・上垣内・北股
	4月27日(木)	今井・平川・柞原・中・上

### のせ川歌壇

老人ら  
慣れし我家を閉じ置きて  
施設に移り村は侘しき

小倉 徳太郎

雪降れば  
誰も訪う人もなく  
施設にて習いし雛人形作る

西前 睦代

野迫川の  
高き山やま白い海  
自然は美し心癒さる

福田 雪美

大雪に  
宙の埃をも降らせしや  
北斗七星大きくきらめく

西本 良子

風雪に  
耐えて色どる山桜  
短かき春の盛りを告げて

中西 章

吾が村の  
強酸性雨に虫が絶え  
鶯鳴かず淋しき春よ

吉野 武文

根雪みゆ  
畑の岸边に一輪の  
乙女のごときたんぽぽの花

中田 敬子

庭梅は  
果てて侘び助もおちそめり  
春くるまでのさびし旬日

北沢 孤山